

## グッドルーザー

### ■なぜグッドルーザーを学ぶのか？

現在、少子化・核家族化によって地域社会の交流が希薄になってしまったことで、他者や弱者を思いやる心、優しさや協調性、連帯感など、社会生活をするのに必要な人間性を自然に育める機会や場が非常に少なくなっています。そこで、スポーツを通じて体を丈夫にするだけではなく、目標に向かって努力する意欲を培い、仲間意識や責任感、犠牲的精神、リーダーシップ、社会性といったものを育む機会が必要なのです。

現在の勝利至上主義は、ともすると多少ずるいことをしても、あるいはアンフェアなプレーをしてでも、勝ちさえすれば許されるという誤った意識を生んでしまう恐れがあり、子供の試合などでも、大人が一生懸命になるがあまり、平気で相手に対し野次をとぼしたり、応援しているチームに対しても子供の失敗を責めてしまう指導者や親が多くいるようです。それでは、スポーツマンシップを育むどころか、自立心や意欲、失敗を恐れない強い気持ちまで削いでしまいます。

そこで、グッドルーザー＝勝っても負けても、相手を思いやる大きな心と強い精神力を身に着けることが必要とされているのです。

青少年が今学ぶべきは、「良き勝者であり、良き敗者」の精神なのです。

### ■グッドルーザーの伝え方

#### アフターマッチミーティングの実施

昨年度と同様に、アフターマッチミーティングでは試合をした両チームの選手や保護者、指導者だけでなく、当委員会メンバーが加わり、外部の視点でプレー内外の思いやりを提示、紹介することでグッドルーザーやフェアプレーの精神の醸成につなげます。また、その際にピッチ内外の見落とされがちな思いやりがある行動に対してグリーンカードを提示します。

#### 【効果】

試合ごとに自チーム及び相手チームの選手、監督、スタッフ、保護者と一緒に先程まで熱い戦いが繰り広げられていた試合内容を5分間という短い時間内で振り返ることで相手への思いやりの心や強い心を身に着ける機会を作ります。